

世界のウチナーンチュ大会比較表

項 目	第1回大会	第2回大会	第3回大会	第4回大会	第5回大会	第6回大会	第7回大会
キャッチフレーズ	「世界のウチナーンチュが やってきた！！」 「カチャーシーで、心はひとつ」	「海を越え、言葉を超えて」 Now is the time for we Uchinanchu to work together for a deeper understanding	「未来 ーちゅら夢心にのせて」	「ひろがるチムグクル つなげるチムチュラサ」	「ちゅら島の魂響け未来まで」	「ウチナーの 躍動・感動、 世界へ響け！」	「うちなーのシンカ 今こそ結ぶ世界の輪」
シンボル マーク							
テーマソング	りんけんバンド 「肝美らさ 雨上がいいぬ 花ぬ如」	ダイヤモンドス 「片手に三線を」	ダイヤモンドス 「片手に三線を」	REQUIOS with PROJECT ちむぐくる 「ニライへの風」	natchy 「ニライの彼方」	花城 舞 「結〜心届く〜」	green note coaster 「歌らな 踊らな」
開催年月日	平成2年8月 23日(木)～26日(日)	平成7年11月 16日(木)～19日(日)	平成13年11月 1日(木)～4日(日)	平成18年10月 12日(木)～15日(日)	平成23年10月 12日(木)～16(日)	平成28年10月 27日(木)～30日(日)	令和4年10月 30日(日)～11月3日(木)
開催場所	沖縄コンベンションセンター 宜野湾市立体育館 他	沖縄コンベンションセンター 宜野湾市立体育館 他	沖縄コンベンションセンター 宜野湾市立体育館 他	沖縄コンベンションセンター 宜野湾市立体育館 他	沖縄セルラースタジアム那覇 沖縄コンベンションセンター他	沖縄セルラースタジアム那覇 エリア 奥武山運動公園 他	沖縄セルラースタジアム那覇 エリア 奥武山運動公園 他
参加者数	海 外:約2千4百人 入場者:約47万人	海 外:約3千4百人 入場者:約52万人	海 外:約4千人 入場者:約27万人	海 外:約4千4百人 入場者:約32万人	海 外:約5千3百人 入場者:約42万人	海 外:約7千3百人 入場者:約43万人	海 外:約1千8百人 入場者:約43万人 (リ アル:約21万5千人 オンライン:約21万5千人)
大会決算額	272,017千円 (内県負担金:261,705千円)	358,210千円 (内県負担金:246,743千円)	416,326千円 (内県負担金:375,420千円)	334,666千円 (内県負担金:301,000千円)	365,343千円 (内県負担金:316,000千円)	355,172 千円 (内県負担金:314,000千円)	324,594千円 (内県負担金:304,248千円)
開催目的等	【目的と意義】 「世界のウチナーンチュ ネットワーク」の構築 世界に雄飛し、活躍している ウチナーンチュは沖縄の貴 重な人的資源である。これらの 財産を経済、文化、学術 等の各分野において、本県 を要として結びつけ、有機的 に機能させるためのネット ワークを確立する。	【大会開催基本的な考え方】 世界各地に在住するウチ ナーンチュ等、本県との関係 者を全世界的なネットワー クで結び、経済、芸能等の各 分野において、人的・物的交 流を促進、さらに一層強力に 進展させ、双方の社会・経済 の発展や活性化に資すると ともに、我が国の「南」にお ける国際交流拠点の形成を 目指す。	【開催概要】 世界各地で活躍するウチ ナーンチュを中心とする人的 ネットワークを拡大発展さ せ、「世界の架け橋」を構築 し、経済等あらゆる分野にわ たる持続的な交流を促進し、 相互の発展と活性化に寄与 するとともに、新たな世紀を 迎え、本県が国際交流の拠 点として飛躍することを目指 す。	【開催の目的】 移住者世代の功績を踏ま え、ウチナーネットワークを担 う次世代の育成を図る大会と し、世界に広がるウチナー ネットワークの継承さらには深 化・拡充を目指す。	【開催の目的】 次世代育成等基本方針に基 づいた事業を行うことによりウ チナーネットワークを持続的に 発展させるとともに、世界に向 けた新たなネットワークの展開 を目指す、「沖縄21世紀ビジョ ン」に謳われる「世界に開かれ た交流と共生の島」の実現に 資することを目的とする。	【開催の目的】 ウチナーネットワークを持続 的に継承、発展させるととも に、沖縄独自のソフトパワー を国内外に発信し、その魅力 と可能性を活用して沖縄の未 来を切り開いていくことを目的 として開催する。	【開催の目的】 復帰50周年の節目に行われ る本大会において今一度、ウ チナーネットワークの大切さ、 強固さを確認し、県民との交 流促進、未来を担う次世代育 成等を通して、ウチナーネット ワークを継承、発展させると ともに、ソフトパワーや最新技術 の活用による持続可能な交 流・協力を実践し、沖縄のみ ならず各地の発展に寄与する ことを目的とする。
大会の成果	ウチナー民間大使制度の発 足	WUB(ワールドウチナーンチュ ビジネスアソシエーション)の設 立	ジュニアスタディーツアーの 発足	ホストファミリーバンク(海邦養秀 ネットワーク構築事業)の発足	式典への県民参加 WYUA(世界若者ウチナーンチュ 連合会)の発足	「世界のウチナーンチュの日」制 定 「第5回世界若者ウチナーンチュ 大会」開催	ハイブリッド開催